



「 樹層 」 (高さ 240 cm×幅 110 cm×奥行 75 cm)

作者 清藤 隆由

\*設置場所 まちづくりセンター

\*経歴

1970 大阪府高槻市生まれ  
1994 愛知県立芸術大学美術学部美術学科彫刻専攻卒業  
1996 愛知県立芸術大学大学院彫刻専攻修了  
現在 愛知県立芸術大学非常勤講師

\*コメント

リニモが通り、万博が開催されるとは思いもよらなかったことで、その間にこの町はすごく変わり、人々の行き来が多くあったようにみえます。町民もそのあいだに3割ほど増えているそうです。人々の出会いが必然と多くなるのでしょうか。その出会いの場のひとつとして、「文化の家」「福祉の家」とともに「長久手町まちづくりセンター」がその交流の拠点としての施設になると聞きます。それをふまえて、そこに設置されるモニュメントは、交流をもつために集まった人々のための目印になればと計画します。大地の延長として土でつくる。地面から樹木がどんどん伸びていくように上に上に。その場所に種が舞い降り土の中から芽が出て根をひろげ成長していくような、植物のようでもあり動物のようでもある、なんだか不思議な生命体というイメージ。土を積んで重ねて層にしてく、その作業にそのイメージをトッピングしながら手に任せる、その繰り返し。それを焼いて永久的に対応できる素材となる。近所の子供たちが作品名とは別にニックネームみたいなものをつけて地元根付く、そんな身近な存在のモニュメントになればいいと思います。